光のまちづくり推進委員会の活動について

水と光の首都大阪の実現に向けた推進イメージ

2016年　2019年　2020年

官民が一体となり光のまちづくりを推進 → 民間が主役、行政はサポート役との基本的な考え方のもとプロジェクトを推進 → **民主導のまちづくり・賑わいづくり**「官」と「民」相互の分担による都市魅力の向上

大阪・光の都市博（仮称）
光のまちづくりによってこれまで積み上げてきた日常と非日常の魅力をパッケージ化し、大阪の魅力として、広く国内外に発信する取り組み。

大阪 光のまちづくり 2020 構想

大阪光のまちづくりの基本方針

光のネックレス構想

光の都市軸（常設のあかり）

- u 天満橋、中之島ガーデンブリッジ、堂島大橋等の橋梁や堂島川護岸のライトアップ等が拡大
- u 中之島エリアを中心にライトアップ施設の拡大（鉾流橋）及び設備の改修

光の暦（イベント）

- ◆ 光のルネサンス・御堂筋イルミネーションの連携強化と共に市内エリアマネジメントによる合同PRが発足（2012）
- ◆ 大阪・光の饗宴開催・幹事会参加（2013）
- u 大阪・光の饗宴において光のプログラム強化
- u 2015年シンボルイヤーにおいて御堂筋イルミネーション 梅田～淀屋橋区間延伸
- ☆ 2015年1月・世界記録に認定

光百景（プロモーション）

- u LUCI（光景観創造国際ネットワーク）日本初加盟(2009年)。LUCI News Letterに大阪・光の饗宴記事掲載(2013年)。／以後LUCI年次総会適宜参画
- u フランス・リヨン市と大阪の光の交流
- u 国内におけるシンポジウム等に多数参画
- u 光の国際年関連フォーラム「光によるまちづくり都市のブランディング」開催（2015）
- ◆ ミズベリング世界会議会場内にて『光の文化祭』を実施（2015）
- ◆「光のまちをつくる」書籍発刊（2015）

その他

- u 光のまちづくり企画推進委員会から「光のまちづくり推進委員会」に改称（2013）

▼

- u 官民が一体となって光のまちづくりに取り組むための指針『大阪光のまちづくり2020 構想』（第1稿）策定（2010.8）

構成
＜第1編光のグランドデザイン＞
＜第2編光のまちづくり参考技術指針＞
＜第3編アクションプラン＞
※同構想の礎であり、光のまちづくりグランドデザインを取りまとめた「大阪のライトアップ戦略『光のまちづくり計画』」は2004年に策定。

公共空間を中心とした光による都市魅力の創造

2014年
- u「大阪光のまちづくり技術指針」公開
- u「第2フェーズアクションプラン」策定

第3フェーズアクションプラン策定検討期間

公共空間・民有地相互による都市魅力の拡大と新たな価値の創造
官：制度整備・その他支援／民：光景観を活用したビジネス展開

基本的な考え方　「日常（景観）」と「非日常（オペレーション）」2つの視点で光景観づくりを推進

u「第3フェーズアクションプラン」策定

1. 大阪・光の都市博（仮称）の具体的な計画策定

《1-1.》エリア別の「日常」「非日常」の指針検討 コンテンツ
- エリア選定とエリア別のブランドや個性を活かした日常・非日常（光の都市軸と光の暦）においてまちづくり団体との連携による具体的プログラムなどの策定
※梅田・中之島・御堂筋のまちづくりに関する意見交換会と連携

まちづくり団体と連携

《1-2.》国内外への発信力強化 発信力
- 国内外に向けたプロモーションの強化と観光振興
※大阪・光の饗宴と連携　※LUCIとの連携強化　等

《1-3.》持続可能な光景観・光環境を目指した技術の検討 技術
- 省エネで環境に配慮し、持続可能な光景観・光環境を目指した、安心・安全なまちづくりを推進するため、スマートコミュニティの構成要素であるスマートライティングの検討と技術力の強化。

2. 2020年以降の構想策定（ブラッシュアップ）
- 光のまちづくりの更なる魅力向上

プロモーションの強化 ～2020年の準備期間

水と光の首都大阪の実現へ

官民の役割を活かした大阪・光のまちづくりによる魅力をさらに国内外へ発信。

市民意識

観光集客

光景観整備

水と光の首都大阪を国内外に発信

観光集客　光の都市軸・光の暦・光百景の取り組みを進めることで、光を大阪の代表的な観光資源とし、国内外からの観光客増加を図る

魅力創造　事業の連携・強化　牽引力ある事業を核として周辺事業との連携を強化　⇒大阪の個性へと発展

【背景】水と光のまちづくり推進に関する基本方針 ››› **水と光のまちづくり** ››› **国内外へ発信する大阪らしい光のまちづくり**

第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ	2020年	2020年以後
2010年～2013年	2014年～2016年	2017年～2019年		

大阪・光の都市博（仮称）の取り組みに向けて第3フェーズを検討